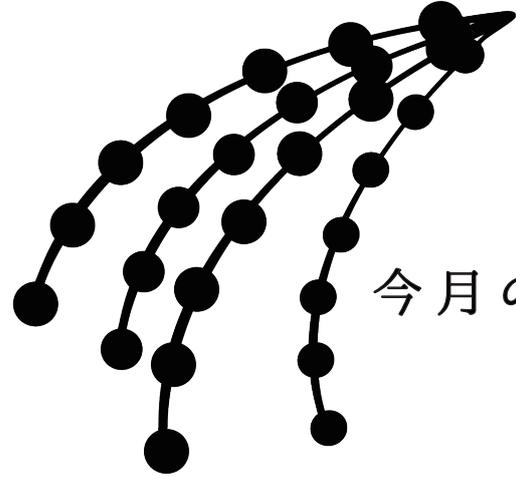


 いわみざわ公園バラ園 [www.iwamizawa-park.com](http://www.iwamizawa-park.com)

### 縁起のよいエゾユズリハ

道内に自生するエゾユズリハは、ユズリハの矮性変種で、貴重な常緑性の広葉樹のひとつです。バラ園北側の山裾・トドマツ林の中にも生えています。背が低く、冬は雪に押しつぶされますが、折れることはなく、雪が溶けると立ち上がります。名前の由来は初夏に新葉が開くと、それまでの古い葉が垂れ下がり落葉します。その滞りなく新旧交代する様を「譲る（ゆずる）葉」としたことによるそうです。つやのある葉は美しく、子孫繁栄の縁起ものとして正月飾りにも使われますが、アルカロイド系の毒性成分が含まれています。少量なら薬になるそうですが、摂取しないように気をつけましょう。



今月の便り

(かわはら)

### 新年明けましておめでとうございます

新しい年を迎えて室内ではシクラメンや、ラン類、観葉植物などお部屋の彩りとして、冬中咲かせて維持するための管理方法を例に上げてみました。室内管理では水やりのコツをつかむ事が大切です。底面給水が良いとされているシクラメンなど冬も咲き続ける花には肥料も必要です。寒さや日照不足にはカリ分も不可欠です。液体肥料の希釈分量を守り、週1を目安に適時与えます。お天気の良い午前中に施すのが効果的です。又暖房が効きすぎない10-20度ぐらいが植物はご機嫌良く生育できるでしょう。春まで元気に咲かせて楽しみましょう。(たかはし)

### 今年は何を作ろうかな？

新型コロナが猛威を振るう中での新春を迎えました。一年の計は元旦にありとは言ってもコロナ蔓延の中、旅行や人々の集いを計画することもできませんが、家庭菜園や花壇づくりの計画はできますので、菜園は連作を避け、花壇は草花の草丈や色合い、開花期間を考えた計画を立てては如何でしょうか。「菜園で採れた野菜がこんな状態になったのですが」との回答に「連作障害」と思われますという、「連作はせず毎年植える位置を変えて植えているがなぜ連作障害なのですか」と再度問われたのでよく聞くと、毎年トマト・ピーマン・ナス・ジャガイモ・ナスなどを場所を変えて輪作をしていますとの回答でした。これを聞いて、皆さんはどう思いますか。家庭菜園での定番の野菜ですが…これって、すべて「ナス科」です。よって一枚の畑にどこにどう輪作しても「連作障害」が出ます。私ならジャガイモをサツマイモに、トマトをキュウリに、ピーマン・ナスを葉物野菜や連作障害の起こりにくいニンジンやトウキビに変えます。

(ながやす)

\*「今月の便り」次ページへつづく⇒

## 堆肥作り・2

日々の食事作りで出る生ゴミは良い堆肥になります。各家庭で容器も生ゴミの量も違うので、全てを堆肥にはできないとしても少しでもゴミをリサイクルする事、何より菌の力で有機物が分解される事を知るのは楽しい事だと思います。発酵する時に出るホカホカと温かい熱を感じると、見えないけれど中で菌が生きている事が感じられて満たされた気分になります。さて、まずは誰でもが安価に出来るダンボール堆肥などはじめて見ませんか？虫が入らないようにクラフトテープで止めたダンボールを台の上に置いて（通気のため直接床に置かない）ピートモス 腐葉土などを最低でも3分の1ほど入れます。そこになるべく小さくした毎日出る生ゴミをダンボールに直接さわらないように真ん中にいれては混ぜるだけ。ダンボールの上部は虫が入らないように古いバスタオルなどをかけてください。注意するのは水分量と匂い。水分は手でぎゅっと握った時固まる程度に保ちます。発酵は腐敗ではないので臭くありません。ダンボールがいっぱいになるまで繰り返します。臭わず、入れた生ゴミの姿がなくなっていたら堆肥化しています。直接使う他に雑草堆肥に混ぜ込むのもおすすめです。他にも堆肥作りは様々な方法がネットに上がっているので調べてから自分に合うものを試してみましょう。（きのした）

## クサソテツ

クサソテツは山菜名ではコゴミのことです。ワラビ、タラノメ、ウド等とともに日本人には古くから馴染み深い山菜ですが最近ではクサソテツなどシダ類を庭に植える方も多くなっています。クサソテツはシダの仲間ですが日向から日陰まで生育でき、ある程度の乾燥にも耐えるので使い勝手が良いからでしょうか。また葉も柔らかく他の植物を傷めないし日陰を明るい緑にしてくれます。また芽だしの様子のグルグル巻きはとてもかわいらしくて大好きです。日本語でこの様子を表す言葉を探してみましたが見つかりませんでした。英語ではフィドルヘッドというそうです。フィドルとは英語でバイオリンのことでシダの葉が開く前の新芽のグルグルがバイオリンの頭の部分に似ているのでそう呼ばれるそうです。ちなみにヨーロッパやカナダでもコゴミは食べられておりソテーやピザにして食べるそうです。（いとう）

## お正月飾り

お正月と言えば「門松」や「マユダマ飾り」が連想されますが、「門松」「マユダマ飾り」って何のためなの？

正月飾りの中でも、門や玄関前に飾る門松は、年神様が家へ尋ね入るにあたっての目印だとされています。一年中落葉しない松、成長が早く生命力の強い竹、新春に開花し、年始にふさわしい梅と3つの縁起物が用いられます。門松は竹と松を組み合わせ梅をあしらえた飾りで、玄関や門の前に飾ることが一般的です。多くの場合二つ一組になっていて玄関など入り口の両脇に飾りますが、玄関を正面に、左側には葉が長く硬いクロマツの『雄松』右側には葉がやわらかく短いアカマツの『雌松』を使います。ただし地方によ飾り方はかなり異なっているようで、松を使わない地域もあるようです。

北海道では「まゆ玉」と言いますが地域によっては「団子下げ」と言うところもあるようで、たくさんの餅や団子が連なっている様子から、「五穀豊穡」を祈願するための飾りとしています。



# ひとつき ひとつバラ



文：田中 伸枝  
(いわみざわ公園バラ園)



photo:portadownphotos.co.uk

## 番外編

現代のバラ繁栄のパイオニア

## サム マグレディ IV 前編

Sam McGredy IV

Samuel Darragh McGredy IV

1932-2019.8.25

出身：イギリス 北アイルランド  
ポータダウン

昨年 No.418 (2020.4.1 発行) で取り上げた 'Electron' の作者です。色々掘り下げていくと、現代のバラ、特にイギリスやニュージーランドのバラ市場にとって大切な人ということが分かりました。2号にわたりご紹介したいと思います。

彼の曾祖父にあたる Sam McGredy II は、北アイルランドで 10 代の息子と 1880 年に Samuel McGredy and Son, Nurserymen を設立しました。当時は果樹とパンジー専門で、2 代目の Sam McGredy II が収益性の高いバラの育種を始めました。1905 年に初めて発表したバラがいきなり受賞し、その後もバラで多数の賞を獲得し『アイルランドの魔法使い』とまで呼ばれるようになったのです。3 代目の Sam McGredy III はバラの生産を大幅に拡大し、初めて家族の名前を冠した 'Margaret McGredy' を発表します。このバラは後にかの名花 'Peace' の花粉親に使用されます。しかし残念なことに、38 歳の若さで急死してしまいます。その時、息子の Sam McGredy IV はまだ 2 歳でした。

とりあえず、おじのウォルターと母親が引き継ぎますが、まもなく第 2 次世界大戦下に陥り野菜の生産を強いられ、彼が園芸を学び実績を積み戻った時にはバラは老朽

化し、育種のノウハウも立ち消えていました。今時の育種を学ぶためドイツのコルデスを訪ね、見事にバラの生産を復活させました。アクティブですよ！その上社会的で、コルデスだけではなく同じ育種家の米国 J&P のユージーンバーナー、デンマークのポールセンとも付き合いがあり、有名人とも交流があったそうです。ちなみに最初の奥様はモデルだそうですよ。1960 年代後半の北アイルランド紛争で 1972 年にニュージーランドに移住し、社名も McGredy Roses, International に変更しました。需要の高い北米向けのバラ作りに適しているため、温室も必要なくなりました。

彼がバラ界にもっとも貢献した点は、育種家権利の獲得でしょう。1960 年代にイギリスで、移住してからすぐニュージーランドで、育種家権利を訴え法制化を後押ししました。苗を売るだけでしか収入を得ることができなかった生産者は、ロイヤリティ収入で新しい育種に費用を充てることができるようになりました。さらにニュージーランドではバラの仲介者組織設立の後押しも行いました。業界全体のことを考えられる賢い方です。育種家の権利が確立されていなければ、今頃バラの世界も衰退していたかもしれません。(次号へ続く)

## 今月の市民園芸講座のご案内



●1月11日(月・祝) 13:00~15:00

折り紙でバラをつくろう 中級

料金：無料 定員：15名 講師：バラ園スタッフ

●1月24日(日) 13:00~15:00

飾ってたのしい植物画～観葉植物編～

料金：1,000円 定員：10名

講師：木下京子さん フラワーマスター

●2月13日(土) 13:00~15:00

折り紙でバラをつくろう 上級

料金：500円 定員：5名 講師：バラ園スタッフ

※2月28日(日) 13:00~15:00 から予定しておりました「洋ラン栽培の楽しみ方」(講師：えるむ花園 川面豊樹さん)は、「いわみざわ洋らん展」の今年度開催見送りに伴い、中止とさせていただきます。

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話：0126-25-6111

ホームページ：<http://www.iwamizawa-park.com/>

新型コロナウイルス感染防止策として、以下の点についてご了承ください。

× マスクの着用がない方

× 37.0℃以上の熱がある方

上記に該当する方は受講をご遠慮いただいております。

- ・事前申し込み無しに当日に飛び入り参加される方は、定員制限などの関係から受講をお断りさせていただく場合がございます。
- ・密集を避けるため、各講座の定員につきましては、予告なく変更する場合がございます。
- ・換気の為、2方向の窓・扉を開放いたします。暖かい格好でお越しく下さい。
- ・密接を避けるため、講座中の私語は謹んでいただきますようお願いいたします。